

# Mizuho Daily Market Report

2024/7/1

## 為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	160.94	160.88	+0.12	+1.08
EUR	1.0698	1.0713	+0.0009	+0.0020
AUD	0.6634	0.6670	+0.0023	+0.0029
SGD	1.3570	1.3560	▲0.0025	+0.0011
CNY	7.2660	7.2673	▲0.0015	+0.0063
MYR	4.7174	4.7175	+0.0000	+0.0048
THB	36.80	36.70	▲0.17	+0.04
IDR	16397	16375	▲23	▲75
PHP	58.60	58.61	▲0.14	▲0.20
INR	83.45	83.39	▲0.07	▲0.15
VND	25450	25455	▲1	▲1

## 金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.396%	+11.0 bp	+14.1 bp
日本(10年)	1.057%	▲1.9 bp	+8.2 bp
ユーロ圏(10年)	2.500%	+5.2 bp	+8.8 bp
オーストラリア(5年)	4.073%	▲9.4 bp	+13.2 bp
シンガポール(5年)	3.193%	▲4.4 bp	+2.1 bp
中国(5年)	1.974%	▲0.7 bp	▲5.8 bp
マレーシア(5年)	3.648%	+0.0 bp	+0.6 bp
タイ(5年)	2.468%	▲0.9 bp	+0.4 bp
インドネシア(5年)	6.971%	▲2.2 bp	▲7.5 bp
フィリピン(5年)	6.348%	▲1.5 bp	▲4.8 bp
インド(5年)	7.024%	+0.8 bp	+2.4 bp
ベトナム(5年)	2.120%	+0.0 bp	+2.0 bp

## 株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	39,118.86	▲0.1%	▲0.1%
N225(日本)	39,583.08	+0.6%	+2.6%
STOXX50(ユーロ圏)	4,894.02	▲0.2%	▲0.3%
ASX(オーストラリア)	4,451.92	▲0.2%	▲0.9%
FTSTI(シンガポール)	3,332.80	▲0.3%	+0.8%
SSEC(中国)	2,967.40	+0.7%	▲1.0%
SENSEX(インド)	79,032.73	▲0.3%	+2.4%
JKSE(インドネシア)	7,063.58	+1.4%	+2.7%
KLSE(マレーシア)	1,590.09	+0.3%	▲0.0%
PSE(フィリピン)	6,411.91	+0.3%	+4.1%
SETI(タイ)	1,300.96	▲0.6%	▲0.4%
VNINDEX(ベトナム)	1,245.32	▲1.1%	▲2.9%

## 商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	290.47	▲0.3%	▲0.9%
金	2,326.75	▲0.0%	+0.2%
原油(WTI)	81.54	▲0.2%	+1.0%
銅	9,455.98	+0.9%	▲1.0%

\*1週間前の終値と比較

## 【本日の予想レンジ】

USD/JPY	160.00	—	161.50
EUR/USD	1.0590	—	1.0800
AUD/USD	0.6490	—	0.6790
USD/SGD	1.3390	—	1.3680
USD/CNY	7.2350	—	7.3080
USD/INR	4.6260	—	4.8050
USD/THB	35.90	—	37.40
USD/IDR	15880	—	16500
USD/PHP	56.70	—	59.30
USD/INR	82.30	—	83.70
USD/VND	25,000	—	26,000

## 【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:  
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department  
Tel. 65-6805-4100

## 【為替】

アジア時間のドル円は160円台後半でオープン。東京仲値にかけては実需のドル買いを背景に161円台へ上昇。バイデン米大統領とトランプ氏のテレビ討論会にてトランプ氏優勢との見方からドル円相場が押し上げられた。一服後、やや戻すも米金利が下げ止まる展開に再び161円台へ。その後は米金利低下や配当金フローなど実需の売りも入ってか値を下げ、結局、160円台後半で海外時間に渡った。アジア通貨は、米インフレ統計の発表を前にほぼ横ばいで推移する展開となった。一方、上期の対ドル相場は、米国の利下げが後ずれすると観測から大幅な下落となる見通し。

海外市場のドル円は160円台後半でNYオープン。NY朝方に発表された米5月PCE価格指数(前月比)の伸びが鈍化している事や、続いて発表された米6月ミシガン大学5-10年先の期待インフレ率も下方修正された事を受け、ドル売りが強まり、160円台前半まで下落。その後は売り一巡となり、160円台後半まで戻す。午後は週末を控え、値幅が限定的の中、160円台後半での狭いレンジ推移が続き、そのままの水準でクローズ。

## 【金利】

米金利は上昇。米大統領選ディベート内容を受けトランプ氏優勢との見方から、米長期金利は上昇した。その後、NYオープンにかけて米10年債利回りは一時4.25%台まで低下したものの、その後、米10年債利回りは反発し、一時4.40%台まで上昇し、そのままの水準でクローズした。

## 【予想】

本日のドル円は底堅い推移を予想。本日、今朝方公表された大企業製造業景況感等は2四半期ぶりに改善したこともあり、7月の日銀金融政策決定会合での利上げ期待は継続するものと思われる。それでも、日銀の利上げ回数自体は限定的であり、引き続き、米金利との大きな差が残る中では、ドル円の大きなトレンドを変えることはできないものと思われる。急速な円安進展時には、為替介入が意識されるものの、円安自体は継続すると思われ、引き続き、底堅い展開を予想する。

## 【本日の予定】

(日本) 2Q 日銀 短観  
(日本) 6月 消費者態度指数  
(日本) 6月 製造業PM(確)  
(アジア) 2Q シンガポール URA民間住宅価格(速)  
(アジア) 5月 豪 小売売上高  
(アジア) 6月 インド PM製造業(確)  
(アジア) 6月 インドネシア CPI  
(アジア) 6月 中国 Caixin製造業PM  
(アジア) 6月 豪 PM製造業(確)  
(アジア) 6月 豪 ムルボルンインスティテュート インフ  
(アジア) 休場 香港  
(欧州) 6月 ユーロ圏 製造業PM(確)  
(欧州) 6月 独 CPI(速)  
(欧州) 6月 独 製造業PM(確)  
(欧州) 6月 英 製造業PM(確)  
(欧州) 独 国債入札(6M)  
(米国) 5月 建設支出  
(米国) 6月 ISM製造業景況指数  
(米国) 6月 製造業PM(確)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、現実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。